

第29回

東北地区本部拡大地区委員会 (2021春闘決起集会) 開催

2月27日秋田市内において、コロナ感染症防止対策を十分に行った上で開催され、今後の活動方針が満場一致で可決されました。執行部を代表して挨拶に立った小笠原委員長は、「大雪や暴風雪に

よる輸送障害により列車ダイヤが大きく乱れ、長時間の抑止や臨時作業等が発生し、組合員にとって大変な冬になったが、安全安定輸送に努めて頂き感謝申し上げます。



現在、コロナ渦といふこれまで経験したことのない状況下で、組合員・全国民が負担のある生活を余儀なくされて

貨物鉄産労がJR連合の先頭になって引っ張っていく覚悟を強く持ちます。

も営業収入が伸び悩み、大変厳しい状況が続いている。いつ、コロナ感染症が収束するのかわからないと思ふが、私達は社会的責務を果たすべく安全安定輸送に努め、この難局を労使が一体となり打破していかねばならない。このような状況下での2021春闘だが、「必ず

2. 2017年12月16日の千早操車場構内死亡労災事故をはじめとする重大事故の責任と教訓を踏まえ、御家族・ご同友が悲しむ死亡労災は絶対に起こさない日々の業務において常に責任感を持ち、再発防止・安全強化に対する取り組みを行わなければならない。

2021春闘だが、「必ずベアを獲得」という強い意志を持って闘っていただきたい」と力強く述べられました。

3. 昨年の本部全国大会以降、残念ながら組織拡大が成されていないが、貨物連合では、着実に組織拡大している。JR連合・本部・各地区本部が連携を密にして、総力を結集し組合員全員で成し遂げます。

続いて、執行部より定期大会以降の活動経過報告後、今後の重点取り組み方針(下記4点)を示されました。

4. 3月末で秋田臨海鉄道事業終了に伴い、ダイヤ改正からの列車本数減や作業内容変更・配置

1. 2021春季生活闘争においては4年連続ベアを必ず獲得し、ベアを積み上げ、今春闘は、

転換等、様々な課題について組合員が不安にならないよう取り組みます。

質疑応答では、2021春闘・安全・組織課題・秋田臨海事業終了等、多くの質問や意見が出され、執行部による集約答弁後、委員会宣言を採択し、小笠原委員長による「団結ガンバリ」で委員会を終了しました。

安全運転と
安心補償で
ハンドルを握る。



マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

セット加入でパワフル補償